

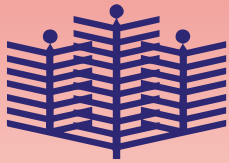
令和8年度
2026

要覧



岩手県立総合教育センター

The General Education Center of Iwate

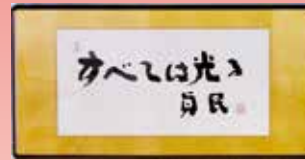


「所章」

- ・岩手県の木である南部赤松を意匠としたものです。
- ・松の木の千年に教育の永遠性を託し、松を基調とした図案です。
- ・松の交叉は、腕を相たずさえて教育を力強く発展させる意味を表現したものです。

平成元年10月16日制定

デザイン：小笠原 卓雄



「すべては光る」

みずから光る太陽も偉大ですが、太陽の光を受けて輝きを放つ月にも何ともいえない魅力を感じます。

“岩手の子どもたちが、親や教師をはじめ地域の方々からの光を受けて、新たな時代に光り輝く子どもに育ってほしい” 「すべては光る」には、このような願いが込められています。

詩「すべては光る」 坂村 真民 作
(元高校教諭・詩人 1909-2006)

目次

I 基本方針	1
II 組織・機構	1
III 事業の概要	2
1 研修事業	4
2 支援事業	9
3 研究事業	12
IV ご案内	14
V 研修講座年間計画	16
VI 職員一覧	18
VII 施設の概要	20
VIII 歴代所長	23
IX 沿革	23
X 英文案内	25

I 基本方針

1 基本目標

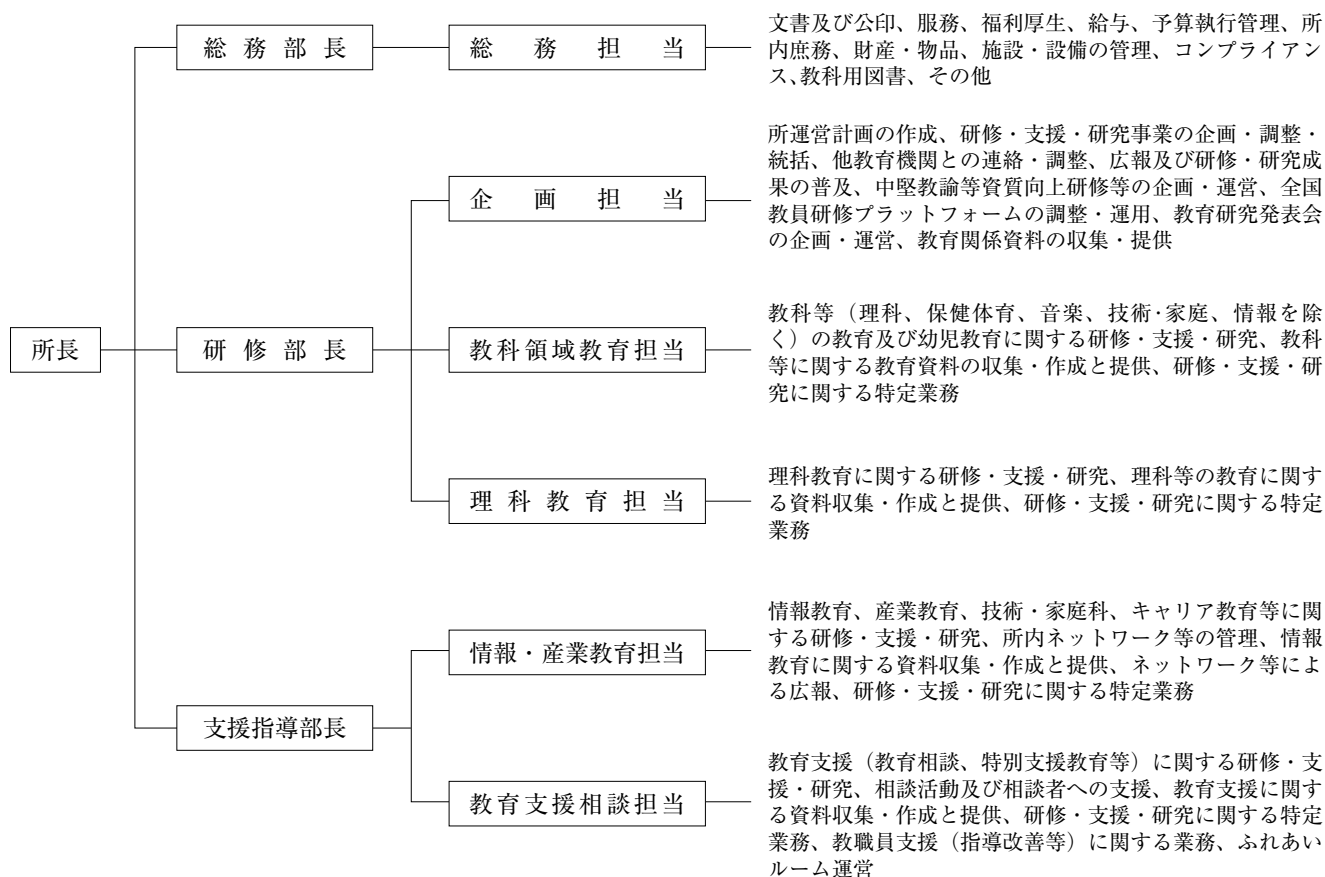
「いわて県民計画(2019～2028)」「岩手県教育振興計画」「岩手県教育委員会経営計画」等を踏まえ、いわての復興教育や確かな学力の育成など本県の教育課題の解決を図るため、研修・支援・研究を土台とし教育活動の充実や教職員の資質・能力の向上に資する。

市町村教育委員会や関係機関と連携しながら、学校等のニーズを把握し教育の課題解決に寄与する「現場に役立つセンター」としての役割を果たす。

2 基本方針

- (1) 岩手県教育振興計画が掲げる基本目標「学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり～自分らしい生き方の実現に向けた 新たな時代のいわての教育～」の実現を目指し、教員が主体的に学ぶことができる計画的・効果的な研修の充実に取り組む。
- (2) 学校等への研修支援、幼児児童生徒、保護者、教職員等からの教育相談、研究への支援など、関係機関と連携し、教育課題や地域のニーズに対応した支援業務を適切かつ迅速に進める。
- (3) 国の教育動向を踏まえた先進的な研究や、本県の教育課題の解決に繋がる研究を推進するために、学校や関係機関と連携し、実践的な教育研究の充実を図る。
- (4) 研修・支援・研究業務を推進するため、専門性とマネジメント力を備えた組織を目指す。

II 組織・機構



○ 推進委員会の設置

総合教育センターにおける研修、支援、研究の各業務の円滑な推進を図るため、次のとおり組織横断的に推進委員会を設置する。

- ・ 研修推進委員会 教職員等育成指標に基づく基本研修及び教育課題に対応した研修全般の推進
- ・ 支援推進委員会 教育機関への研修・研究支援、ICT活用支援、教育相談等の支援
- ・ 研究推進委員会 国の教育動向に対応した研究、本県の教育課題に対応した研究の推進

Ⅲ 事業の概要

「いわて県民計画（2019～2028）」

【基本目標】学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり
～自分らしい生き方の実現に向けた 新たな時代のいわての教育～ →

岩手県教育振興計画

具体的な
施策の内容

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

2 確かな学力の育成

3 豊かな心の育成

7 学びの基盤づくり

8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

9 学校と家庭・地域との協働の推進

本年度
県教育委員会
経営計画

■「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン ■岩手県ふるさと振興総合戦略
■「いわての復興教育」プログラム（第3版） ■校長及び教員としての資質の向上に関する指標

総合教育センター
の主な事業

全般
家庭・地域との協働の学校経営

いわての復興教育
キャリア教育

学力向上・授業力向上

研修

p.4～

- 基本研修（初任者、2年目、3年目、教職経験者5年、中堅教諭等資質向上、ステージアップ研修）
- 特別研修（新任・教職専門等）
- 希望研修（学習指導力向上、生徒指導力向上、マネジメント力向上、復興教育・キャリア教育、

- ・小・中学校新任教務主任（中央会場）
- ・県立学校等新任教務主任
- ◆県立学校等新任生徒指導主事
- ・県立学校等新任保健主事
- ◆県立学校新任ネットワーク管理者
- ・実践 組織マネジメント
- ◇Forms でつくるアンケート
- ◇◆高等学校Web ページ・note活用
- ◇◆生成A I 活用！初めてのExcel VBA
- ◇はじめての動画編集
- ◇◆教師のための生成A I 活用
- ◇放課後に学べる授業・校務改善ツール（Power Query）
- ◇放課後に学べる授業・校務改善ツール（Power AutoMate）

- ・社会につなぐキャリア教育
- ・いわての復興教育・防災教育担当者
- ・進路指導充実のための労働関連法教育

- ◇小学校教科スキルアップ
- ◇◆小学校プログラミング教材活用
- ◇◆小学校算数授業づくり
- ◇小学校授業づくり（理科、外国語活動・外国語、音楽）
- ◇小学校理科ものづくりの指導
- ◇◆小学校放課後社会科
- ◇◆小・中学校国語授業づくり
- ◇中学校教科スキルアップ
- ◇◆中学校免許外教科担任(家庭、技術、美術、保健体育)
- ◇◆中学校授業づくり(数学、英語)
- ◇◆中学校放課後社会科
- ◇◆技術・家庭 技術分野の授業づくり
- ◇◆高等学校教科スキルアップ
- ◇◆高等学校臨時任用教員等
- ◇◆高等学校教科専門「国語、公民、家庭」
- ◇◆高等学校教科専門「数学、物理、化学、生物、外国語(英語)、情報」
- ・現地に学ぶ地学
- ・美術館を活用した鑑賞教育
- ◇◆スタートアップ複式指導
- ◆「ミシンを使った製作」の教材づくり
- ◇Let's try!! 3D CAD & 3Dプリンタ
- ◇ロイロノート・スクール授業づくり
- ◇◆ロイロノート・スクール基礎
- ◇◆放課後に学べる授業・校務改善ツール(ロイロノート、Teams)
- ◇管理職のための高等学校教科担任
- ・授業が変わる！「見えない学力」の育成と評価
- ・総合的な探究の時間担当者
- ・長期研修講座「教育研修コース」

支援

p.9～

- 教育支援相談（電話相談、来所相談、訪問相談）
- 研究の活用促進を図る研究紹介の作成

- 教育研究・教材関係資料等の収集と提供
- 研修者のニーズや活用度等を踏まえた講座設計

教育情報・資料提供等

教育情報・資料提供等

教育情報・資料提供等

研究

p.12～

- 調査・研究事業（所員及び長期研修生による調査・研究）
- 岩手県教育研究発表会

- 小中連携による授業研究会の在り方に関する研究
- 校種を越えた対話から、協働的に学び合う組織を目指して -
- 高等学校の授業における生成A I 活用促進に関する研究
- 活用サイトの開発を通して -

【視点1】一人ひとりの可能性を伸ばす学びの確保	【視点4】教育分野におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
【視点2】郷土に誇りと愛着を持ち、岩手で世界で活躍する人材の育成	【視点5】東日本大震災津波の経験や教訓を踏まえた学びの推進
【視点3】岩手らしさを生かした生涯にわたる学びの充実	

4 健やかな体の育成	5 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進	6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進
10 子育て支援や家庭教育支援の充実	11 生涯にわたり学び続ける環境づくり	12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

⇒「いわての復興教育」の一層の推進と「確かな学力の育成」の取組などの多様な教育施策の実現
「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、社会を創造する資質・能力を育てる「人間形成」

豊かな心を育む教育・教育相談	健やかな体を育む教育・健康教育	特別支援教育
----------------	-----------------	--------

○公開講演

○移動センター研修、要請研修、随時研修、派遣研修
特別支援教育、教育の情報化、学校保健教育)

注) ◇印はICT活用研修講座、◆印は新規講座及び改編講座

<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校新任教育相談担当 ◆教育相談コーディネーターフォローアップⅠ、Ⅱ ◆いじめ問題・不登校の理解と対応(管理職等対象) ◆いじめ・不登校の未然防止のための学級集団づくり(学級担任対象) ・授業のユニバーサルデザイン ◆情報モラル授業デザイン ・教育相談実践力向上 ・気づきと実践の教育相談 ・感情コントロールの力を育てる教師のかかわり ◆ソーシャルスキルトレーニング ・認知行動療法による不登校のアセスメントと支援Ⅰ、Ⅱ ◆長期研修講座「養成研修コース」 	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭スキルアップ ・栄養教諭スキルアップ ・養護教諭健康相談・保健教育分野 ・養護教諭緊急時対応力向上 ・養護教諭現代的健康課題対応力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校特別支援学級等設置校校長 ・特別支援教育担当ステップアップⅠ(後期研修) ・特別支援教育担当ステップアップⅡ、Ⅲ ◆高等学校特別支援教育コーディネーター ・特別支援学校臨時的任用教員等 ◆特別支援学校寄宿舎生活指導充実 ・高等学校における特別支援教育実践力向上Ⅰ～Ⅲ ◆子どもの発達と個に応じた支援 ・心理・発達検査の結果を生かした支援 ◇◆学習の困難さに注目した教科指導 ・新任特別支援教育担当教員 ・通級による指導担当教員養成 ・長期研修講座「養成研修コース」
---	--	--

○所員等の研究や県内学校等の学習指導案等のWebページによる公開
○Webページ・いわてTeacherサポートメールでの総合的な情報発信

○「教育研究岩手」等の刊行

<input type="checkbox"/> 教育情報・資料提供等	<input type="checkbox"/> 教育情報・資料提供等	<input type="checkbox"/> 教育情報・資料提供等
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

○総合教育センターの業務推進に関する調査(全県調査)

- 幼児教育と小学校教育の円滑な学びの接続
- 幼児期の遊びを通じた学びを踏まえた第1学年の授業実践-

1 研修事業

(1) 研修の概要

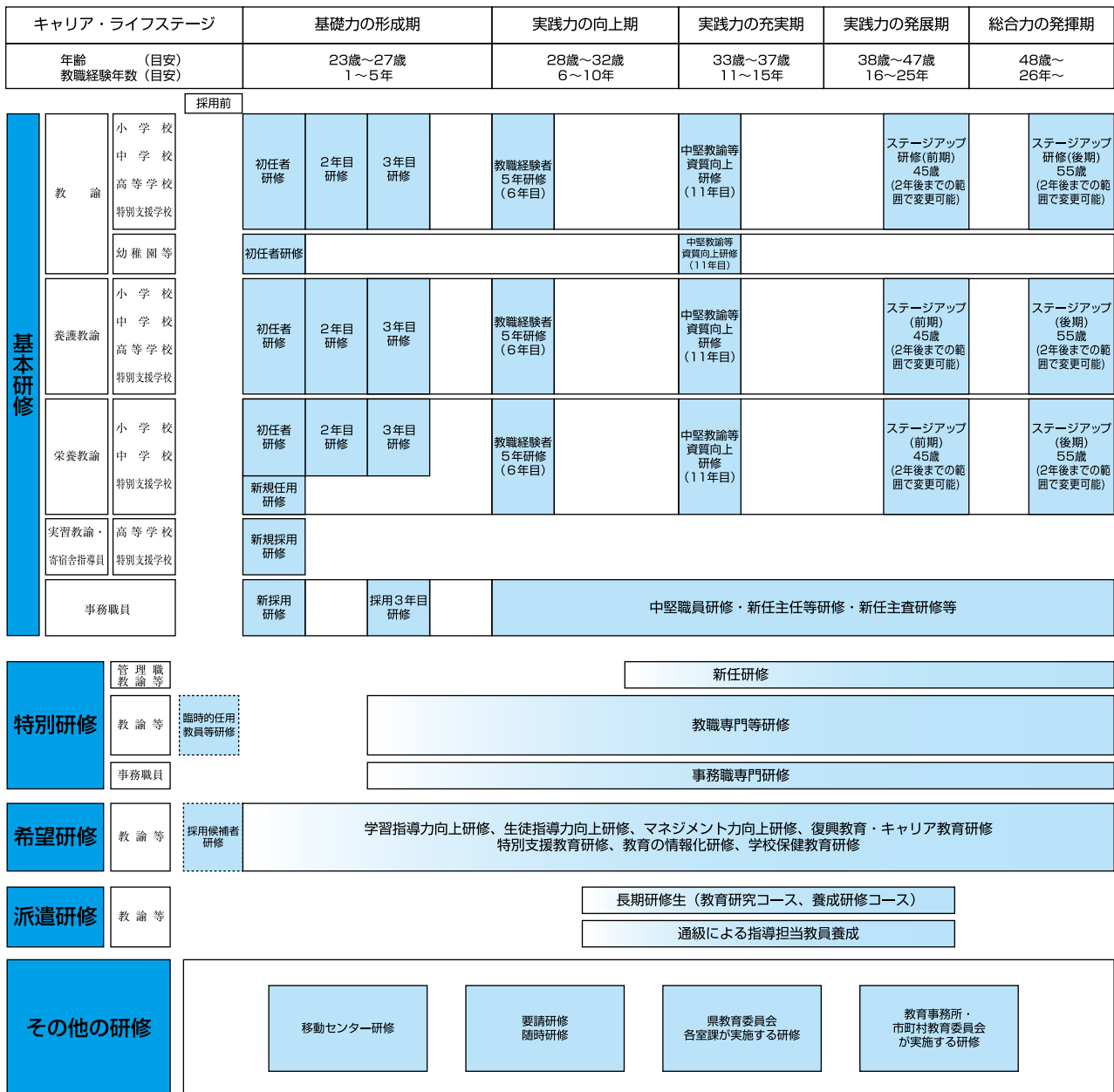
令和4年度答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」において、教職生活を通じた新たな教師の学びの姿が示されました。県教育委員会では、新たな教師の学びの姿の実現に向けて、令和6年度から、全国教員研修プラットフォーム：Plant（プラント）を導入しました。これにより、教師と学校管理職との対話に基づく研修の受講を推進することで、教師自らが主体的な学びをマネジメントできるようになることが期待されます。

総合教育センターでは、県教委事務局関係室課、教育事務所、市町村教委と密接に連携して研修講座を実施しています。

(2) 県の教職員研修体系

岩手県の教職員研修体系は、任命権者である岩手県教育委員会等が、計画的・継続的に研修に取り組めるよう策定したものです。以下のように、基本研修、特別研修、希望研修、派遣研修、その他の研修（移動センター研修、要請研修等）に区分し実施しています。

県の教職員研修体系



(3) 令和8年度研修講座概要【当センター実施分】

ア 基本研修

教諭の基本研修は、以下のとおり実施します。

※養護教諭及び栄養教諭の初任者研修、2年目研修、3年目研修、教職経験者5年研修は保健体育課の計画により、実施します。

(ア) 初任者研修講座

教員としての自覚を高めるとともに、円滑に教育活動に入り、可能な限り自立して教育活動を展開していくための素地素養や実践的指導力の育成を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等
・センター研修Ⅰ（3日間） ・センター研修Ⅱ（3日間） ・センター研修Ⅲ（3日間）	・センター研修Ⅰ（3日間） ・センター研修Ⅱ（4日間） ・センター研修Ⅲ（3日間）	・センター研修Ⅰ（3日間） ・センター研修Ⅱ（3日間） ・センター研修Ⅲ（3日間） ・センター研修Ⅳ（3日間）	・センター研修Ⅰ（2日間） ・センター研修Ⅱ（3日間） ・センター研修Ⅲ（3日間）
計9日間	計10日間	計12日間	計8日間

(イ) 2年目研修講座

現職研修の一環として、幅広い知見と使命感を養うとともに、実践的指導力の向上を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校
・センター研修（2日間）	・センター研修（2日間） ・フォローアップ研修（1日間）	・センター研修Ⅰ（2日間） ・センター研修Ⅱ（2日間）
計2日間	計3日間	計4日間

(ウ) 3年目研修講座

現職研修の一環として、幅広い知見と使命感を養うとともに、実践的指導力の向上を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校
・センター研修（2日間）	・センター研修（3日間）	・センター研修（2日間）
計2日間	計3日間	計2日間

(エ) 教職経験者5年研修講座（6年目）

学習指導、生徒指導及び学級経営等、教職一般についての職務遂行能力の一層の向上を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校
・センター研修（2日間）	・センター研修（2日間）	・センター研修（2日間）
計2日間		

(オ) 中堅教諭等資質向上研修

教育活動や学校運営の中核的な役割を果たす上で必要とされる資質の向上を図ります。

小・中学校	高等学校・特別支援学校	養護教諭	栄養教諭	幼稚園等
・共通（1日間）	・共通選択（1日間）	・校種別、職種別（1日間）		・センター研修（3日間）
<推奨研修> ・教科スキルアップ（1日間）		<推奨研修> ・スキルアップ（1日間）		
計3日間 又は4日間				
				計3日間

(カ) ステージアップ研修

最新の教育動向を踏まえ、本県の教育課題に関わる内容をテーマとしたカリキュラムを実施し、教員個々の課題解決へのモチベーションを高め、資質の向上を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	栄養教諭
【テーマ研修】：管理職との対話を通して、テーマ研修と認められている研修の中から2日間以上の講座を選択する。 教育センターの研修では、下記の【選択必修】の中から未選択の講座、特別研修、希望研修、要請研修及び随時研修の中から選択する。				
【選択必修】：管理職との対話を通して2日間の講座を選択する。 ①中堅教諭等資質向上研修「共通」（1日間） ②中堅教諭等資質向上研修「共通選択」（1日間） ③中堅教諭等資質向上研修「校種別、職種別」（1日間） ④希望研修 ・小・中学校・高等学校・特別支援学校教諭「教科スキルアップ」（1日間） ・養護教諭・栄養教諭「スキルアップ」（1日間）				
計4日間以上				

イ 特別研修

(ア) 新任研修

研修コード	研修講座名	期間(日)	研修人数(見込み)				
			幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
213100	高等学校新任教育相談担当研修講座	2				30	
215400	小・中学校新任教務主任研修講座(中央会場)	2		50	30		
215500	小・中学校特別支援学級等設置校校長研修講座	1		60	30		
215700	特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ(後期研修)	1		125	75		
216100	県立学校等新任教務主任研修講座	2				20	5
216300	県立学校等新任生徒指導主事研修講座	2				20	5
216400	県立学校等新任保健主事研修講座	1				35	5
216500	県立学校新任ネットワーク管理者研修講座	1				20	10

(イ) 教職専門等研修

研修コード	研修講座名	期間(日)	研修者数(見込み)				
			幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
222110	中学校免許外教科担任研修講座(家庭)	2			20		
222120	中学校免許外教科担任研修講座(技術)	2			16		
222130	中学校免許外教科担任研修講座(美術)	2			10		
222140	中学校免許外教科担任研修講座(保健体育)	2			4		
223100	高等学校特別支援教育コーディネーター研修講座	1				75	
223300	高等学校臨時的任用教員等研修講座	1				50	
224100	特別支援学校臨時的任用教員等研修講座	1					40
224200	特別支援学校寄宿舎生活指導充実研修講座	1					16
225100	特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ						
225200	特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅲ						
227100	社会につながるキャリア教育研修講座	1				11	
227300	教育相談コーディネーターフォローアップ研修講座Ⅰ	1		10	10	7	3
227400	教育相談コーディネーターフォローアップ研修講座Ⅱ	1		10	10	7	3
227500	いわての復興教育・防災教育担当者研修講座	1		20	20	15	5
227600	いじめ問題・不登校の理解と対応(管理職等対象)	2		85	46	25	5
227700	いじめ・不登校の未然防止のための学級集団づくり(学級担任対象)	2		44	25	12	3

ウ 希望研修

(ア) 学習指導力向上

研修コード	研修講座名	担当	期間(日)	研修者数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
311100	小学校教科スキルアップ研修講座	教科領域教育	1		130	5	5	30
312701	中学校教科スキルアップ研修講座(国語)	情報・産業教育	1		5	20	2	3
312702	中学校教科スキルアップ研修講座(社会)	情報・産業教育	1		2	20	2	2
312703	中学校教科スキルアップ研修講座(数学)	情報・産業教育	1		2	18	2	3
312704	中学校教科スキルアップ研修講座(理科)	情報・産業教育	1			20		
312705	中学校教科スキルアップ研修講座(音楽)	情報・産業教育	1		2	20	2	2
312706	中学校教科スキルアップ研修講座(美術)	情報・産業教育	1		2	10	2	2
312707	中学校教科スキルアップ研修講座(保健体育)	情報・産業教育	1			10		5
312708	中学校教科スキルアップ研修講座(技術)	情報・産業教育	1			5		
312709	中学校教科スキルアップ研修講座(家庭)	情報・産業教育	1		1	7	1	1
312710	中学校教科スキルアップ研修講座(外国語)	情報・産業教育	1		5	50	2	3
313100	総合的な探究の時間担当者研修講座	教科領域教育	1				25	
313701	高等学校教科スキルアップ研修講座(国語)	理 科 教 育	1				20	2
313702	高等学校教科スキルアップ研修講座(地歴公民)	理 科 教 育	1				17	3
313703	高等学校教科スキルアップ研修講座(数学)	理 科 教 育	1				15	5
313704	高等学校教科スキルアップ研修講座(理科)	理 科 教 育	1				12	
313705	高等学校教科スキルアップ研修講座(保健体育)	理 科 教 育	1				15	5
313706	高等学校教科スキルアップ研修講座(音楽)	理 科 教 育	1				20	
313709	高等学校教科スキルアップ研修講座(外国語)	理 科 教 育	1				20	
313710	高等学校教科スキルアップ研修講座(家庭)	理 科 教 育	1			1	7	2
313712	高等学校教科スキルアップ研修講座(農業)	理 科 教 育	1			1	1	5
313713	高等学校教科スキルアップ研修講座(工業)	理 科 教 育	1				15	
313714	高等学校教科スキルアップ研修講座(商業)	理 科 教 育	1				15	
313715	高等学校教科スキルアップ研修講座(水産)	理 科 教 育	1				6	
316010	高等学校教科専門研修講座「国語」	教科領域教育	1				8	2
316020	高等学校教科専門研修講座「公民」	教科領域教育	1				8	2
316030	高等学校教科専門研修講座「数学」	教科領域教育	1				8	2
316040	高等学校教科専門研修講座「物理」	理 科 教 育	1				4	2
316050	高等学校教科専門研修講座「外国語(英語)」	教科領域教育	1				8	2
316060	高等学校教科専門研修講座「家庭」	情報・産業教育	1				8	2
316070	高等学校教科専門研修講座「化学」	理 科 教 育	1				7	2
316080	高等学校教科専門研修講座「生物」	理 科 教 育	1				6	2
316090	高等学校教科専門研修講座「情報」	情報・産業教育	1				13	2
317300	「ミシンを使った製作」の教材づくり研修講座	情報・産業教育	1		3	2	3	2
318010	小学校外国語・外国語活動授業づくり研修講座	教科領域教育	1		14	2	2	2
318020	授業が変わる!「見えない学力」の育成と評価研修講座	情報・産業教育	1		15	20	10	5
318030	美術館を活用した鑑賞教育研修講座	教科領域教育	1		10	10	10	10
318040	中学校英語授業づくり研修講座	教科領域教育	1		3	31	3	3
318050	現地に学ぶ地学研修講座	理 科 教 育	1		2	2	2	1
319010	小学校算数授業づくり研修講座	教科領域教育	1		60			5
319020	小学校理科授業づくり研修講座	理 科 教 育	1		9			3
319030	小学校理科ものづくりの指導研修講座	理 科 教 育	1		9			3
319040	小学校音楽授業づくり研修講座	教科領域教育	1		15			5
319050	小学校放課後社会科研修講座	教科領域教育	3		20			5
319060	スタートアップ複式指導研修講座	教科領域教育	1		15			5

研修コード	研修講座名	担当	期間(日)	研修者数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
319070	小・中学校国語授業づくり研修講座	教科領域教育	1		15	15		5
319080	中学校数学授業づくり研修講座	教科領域教育	1			60		5
319090	中学校放課後社会科研修講座	教科領域教育	3			20		5
319100	技術・家庭 技術分野の授業づくり研修講座	情報・産業教育	1			8		2

(イ) 生徒指導力向上

研修コード	研修講座名	担当	期間(日)	研修者数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
327010	感情コントロールの力を育てる教師のかかわり研修講座	教育支援相談	1	10	15	15	10	10
328010	情報モラル授業デザイン研修講座	情報・産業教育	1		6	6	6	2
328020	気づきと実践の教育相談研修講座	教育支援相談	1		12	12	12	9
328030	教育相談実践力向上研修講座	教育支援相談	1		8	8	8	6
328040	認知行動療法による不登校のアセスメントと支援研修講座Ⅰ	教育支援相談	1		6	6	5	3
328050	認知行動療法による不登校のアセスメントと支援研修講座Ⅱ	教育支援相談	1		6	6	5	3

(ウ) マネジメント力向上

研修コード	研修講座名	担当	期間(日)	研修者数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
338010	実践 組織マネジメント研修講座	情報・産業教育	1		5	5	5	5

(エ) 復興教育・キャリア教育

研修コード	研修講座名	担当	期間(日)	研修者数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
346010	進路指導充実のための労働関連法教育研修講座	情報・産業教育	1				10	5
348010	社会につながるキャリア教育研修講座	情報・産業教育	1		10	10	10	10

(オ) 特別支援教育

研修コード	研修講座名	担当	期間(日)	研修者数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
353100	高等学校における特別支援教育実践力向上研修講座Ⅰ	教育支援相談	2				10	
353200	高等学校における特別支援教育実践力向上研修講座Ⅱ	教育支援相談	1				10	
353300	高等学校における特別支援教育実践力向上研修講座Ⅲ	教育支援相談	1				10	
355010	新任特別支援教育担当研修講座	教育支援相談	1		100	50		
357010	ソーシャルスキルトレーニング研修講座	教育支援相談	1	5	10	10	10	10
357020	子どもの発達と個に応じた支援研修講座	教育支援相談	1	9	10	10	6	5
358010	授業のユニバーサルデザイン研修講座	教育支援相談	1		10	10	10	5
358020	心理・発達検査の結果を生かした支援研修講座	教育支援相談	1		10	10	10	10
358030	学習の困難さに注目した教科指導研修講座	教育支援相談	1		15	10	15	5

(カ) 教育の情報化

研修コード	研修講座名	担当	期間(日)	研修者数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
363100	高等学校Web ページ・note 活用研修講座	情報・産業教育	2				10	
365010	ロイロノート・スクール基礎研修講座1	情報・産業教育	1		15	15		
365020	ロイロノート・スクール基礎研修講座2	情報・産業教育	1		15	15		
366010	管理職のための高等学校教科担任研修講座	情報・産業教育	1				25	5
367010	はじめての動画編集研修講座	情報・産業教育	1	3	3	3	4	2
367020	教師のための生成AI活用研修講座1	情報・産業教育	1	5	5	5	5	5
367030	教師のための生成AI活用研修講座2	情報・産業教育	1	5	5	5	5	5
368010	Forms でつくるアンケート研修講座	情報・産業教育	1		4	4	4	4
368020	生成AI活用! 初めてのExcel VBA 研修講座	情報・産業教育	1		3	3	4	4
368030	ロイロノート・スクール授業づくり研修講座	情報・産業教育	1		10	10	5	5
368040	放課後に学べる授業・校務改善ツール研修講座「ロイロノート」シンキングツール編	情報・産業教育	1		10	10	5	5
368050	放課後に学べる授業・校務改善ツール研修講座「Teams」課題機能と小テスト編	情報・産業教育	1		5	5	5	5
368060	放課後に学べる授業・校務改善ツール研修講座「PowerAutoMate」校務の自動化編	情報・産業教育	1		5	5	5	5
368070	放課後に学べる授業・校務改善ツール研修講座「Power Query」校務の自動化編	情報・産業教育	1		5	5	5	5
369010	小学校プログラミング教材活用研修講座	情報・産業教育	1		10			10
369020	Let's try!! 3DCAD&3Dプリンタ研修講座	情報・産業教育	1			2	2	2

(キ) 学校保健教育

研修コード	研修講座名	担当	期間(日)	研修者数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
378010	養護教諭健康相談・保健教育分野研修講座	教育支援相談	1		4	4	4	2
378020	養護教諭緊急時対応力向上研修講座	教育支援相談	1		20	10	8	2
378030	養護教諭現代的健康課題対応力向上研修講座	教育支援相談	1		20	10	8	2
378100	養護教諭スキルアップ研修講座	教育支援相談	1		15	5	5	5
378200	栄養教諭スキルアップ研修講座	教育支援相談	1		5	5	5	5

エ 派遣研修

総合教育センターの長期研修等に対応した研修講座

- ①総合教育センター長期研修講座「教育研究コース」 (1年間)
- ②総合教育センター長期研修講座「養成研修コース」 (1年間)
- ③総合教育センター通級による指導担当教員養成研修講座 (3か月間)

オ 要請研修

教育事務所、市町村教育委員会、学校等の希望に対応し、センター所員が各地に出向いて行う研修

カ 移動センター研修

被災地及び遠隔地における教職員の研修支援及び研修機会の平等を期して、センター所員が現地に出向いて行う研修

キ 随時研修

課題解決のために、研修者が随時、総合教育センターを訪れて進める研修

ク 公開講演

研修講座の中で行われる講演のうち、研修対象者以外にも公開するもの

研修コード	講演題	講師	日時
500100	児童・生徒の自殺対策について	未来の風せいわ病院 理事長 智田 文徳	5月1日(金) 13:00~14:45
500200	発達障がい理解と支援 ～高校生への支援を中心として～	東北福祉大学 教授 大西 孝志	4月24日(金) 9:00~12:00
500300	協働する学校づくり～チーム学校とデータを 活かした組織マネジメント～	早稲田大学 教授 河村 茂雄	9月8日(火) 15:15~16:45
500400	感情コントロールの力はどうに育つか	早稲田大学 助手 藤田 真理子	9月16日(水) 9:30~12:15

(4) 令和7年度研修講座実施実績

ア 校種ごとの延べ研修講座数

体系	区 分	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
基本研修	初 任 者 研 修	3	3	3	3	4		16
	2 年 目 研 修		1	1	2	2		6
	3 年 目 研 修		1	1	1	1		4
	教 職 経 験 者 5 年		1	1	1	1		4
	中堅教諭等資質向上	1	3	3	3	3		13
	小 計	4	9	9	10	11		43
特別研修	新 任 研 修		3	3	5	4		15
	教 職 専 門 等 研 修		5	6	8	7	1	27
	小 計		8	9	13	11	1	42
希望研修	教 科 研 修		18	15	22	29		84
	領 域 等 研 修		3	3	6	6		18
	情 報 教 育 研 修	1	11	11	12	11	2	48
	教 育 相 談 研 修	2	6	6	6	6		26
	学 校 保 健 教 育 研 修		5	5	5	5		20
	特 別 支 援 教 育 研 修	1	4	4	6	3		18
	小 計	4	47	44	57	60	2	214
派 遣 研 修			3	2	1	1		7
合 計		8	67	64	81	83	3	306

イ 校種ごとの延べ研修者数

体系	区 分	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
基本研修	初 任 者 研 修	119	348	229	149	94		939
	2 年 目 研 修		110	71	72	38		291
	3 年 目 研 修		111	58	40	21		230
	教 職 経 験 者 5 年		114	70	42	26		252
	中堅教諭等資質向上	29	418	270	314	160		1,191
	小 計	148	1,101	698	617	339		2,903
特別研修	新 任 研 修		231	129	84	25		469
	教 職 専 門 等 研 修		155	133	163	58	9	518
	小 計		386	262	247	83	9	987
希望研修	教 科 研 修		102	192	160	33	5	492
	領 域 等 研 修		5	6	51	14		76
	情 報 教 育 研 修		21	21	52	20	1	115
	教 育 相 談 研 修	1	44	39	45	38		167
	学 校 保 健 教 育 研 修		33	25	26	11		95
	特 別 支 援 教 育 研 修		182	77	42	19		320
	小 計	1	387	360	376	135	6	1,265
派 遣 研 修			7			8	1	16
合 計		149	1,881	1,320	1,240	565	16	5,171

2 支援事業

(1) 教育支援相談

子供の発達を総合的にサポートするために、児童生徒、保護者及び教職員等に対して、相談の機会を提供し、具体的な対応や指導の在り方等の援助を行います。

内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 就学や進路について悩んでいる ◆ 学校に登校できない ◆ 性格や言動のことが気になる ◆ 非行や暴力、怠学等で困っている ◆ 拒食やリストカットで悩んでいる ◆ 人とのかかわりやコミュニケーションが気になる ◆ 学級経営や児童生徒との関わり方に悩んでいる ◆ 集団づくりに迷っている ◆ 学習のつまずきや遅れ、偏りが気になる ◆ 見え方や聞こえ方が心配、ことばが気になる ◆ 集団行動での落ち着きのなさを心配している ◆ 興味の偏りや狭さを感じられる ◆ 家庭での養育やしつけについて悩んでいる 等
方法	<p style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;">【電話相談】 月～金（祝日を除く） 午前9時～午後5時</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ふれあい電話（主に学校生活に関すること） : 0198(27)2331</p> <p>コスモスダイヤル（主に発達に関すること） : 0198(27)2473</p> </div> <p>※相談は無料とし、相談内容の秘密を厳守します。</p> <p>※電話相談の後、次のような相談を行うこともできます。</p> <p>○来所相談：月～金（祝日を除く）原則 午前9時半～、午後1時半～（90分間程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として児童生徒・保護者・教職員等を対象とし、相談員が個別に対応します。 ・保護者または教職員のための相談も可能です。 <p>○訪問相談</p> <p>所員が学校を訪問し、教職員とのケース検討会、児童生徒や保護者との面談等に対応します。市町村立の小・中・義務教育学校においては、市町村教育委員会に確認してからお申し込みください。県立・私立学校においては、直接総合教育センターにお申し込みください。訪問相談に係る旅費については、各公所等の負担となります。</p> <p>この他に、県北・沿岸の高等学校を会場として、県立学校を対象に県北・沿岸地区相談室を年10回程開設します。</p> <p style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;">【ふれあいルーム】（開設場所：総合教育センター（花巻）、県立図書館内（盛岡））</p> <p>不安や悩みなどで学校に行けなくなった高校生のために居場所を提供し、相談・支援を行います。</p> <p>※詳しくは、総合教育センターホームページの教育相談のページをご覧ください。</p>

相談件数

主訴	生徒指導全般	進路	学業	家庭生活	その他	計
令和7年度	462	26	88	70	505	1,151
令和6年度	368	31	101	46	598	1,144

(2) 要請研修

要請研修は、教科研修、領域等研修、情報教育研修、教育相談/生徒指導研修、特別支援教育研修などの内容について、教育事務所、市町村教育委員会、各学校等の要請を受け、総合教育センターの研修指導主事が各地に出向いて行う研修です。

具体的な研修内容等については、各担当に電話・メール等でお問い合わせください。その際、市町村教育委員会へ事前に確認することや旅費の負担等、申込手続き上の留意点がありますので、詳しくは「令和8年度教職員研修の手引」10ページをご覧ください。



〔令和7年度実施状況〕（ ）内は令和6年度

内容	国語、理科、音楽、図工/美術、家庭/技術・家庭、外国語、生活/総合的な学習の時間、情報教育、幼児教育、特別支援教育、教育相談/生徒指導、教職員支援 など		
件数	137件 (164件)	研修者数	5,496名 (3,609名)

(3) 移動センター研修

移動センター研修は、被災地及び遠隔地における教職員の研修支援及び研修機会の平等を期して、総合教育センターの研修指導主事が各地に出向いて行う研修です。

被災地及び遠隔地にある市町村単位での実施を原則とします。

〔令和8年度実施可能な内容等〕

- ・教科指導、生徒指導に関する講義・演習
- ・ICT活用を含む情報教育に関する講義・演習
- ・移動センター研修の事後指導（授業参観や授業研究会の助言等）



〔令和7年度実施状況〕（ ）内は令和6年度

内容	理科、情報教育、特別支援教育、教育相談/生徒指導		
件数	10件 (9件)	研修者数	217名 (558名)

(4) 随時研修

随時研修は、研修者のニーズに合わせた研修及び課題解決のため、総合教育センターの施設・設備を利用して行う研修です。個人、グループ等の自発的な研修希望に応じます。研修者一人からでも対応可能です。申込みは電話・メールで受け付けています。

詳しくは各担当に電話・メール等でお問い合わせください。



〔令和7年度随時研修実施状況〕（ ）内は令和6年度

内容	理科、音楽、家庭/技術・家庭、生活/総合的な学習の時間、情報教育、幼児教育 など		
件数	17件 (27件)	研修者数	74名 (89名)

(5) 教育情報・資料提供等

県内外の教育研究資料及び教材関係資料等を重点的に収集整理し、各学校及び教育関係機関に提供しています。

ア 所蔵している教育関係図書及び教育関係資料（令和7年度）

教育関係図書 18,277冊 教育関係資料 52,568冊（常時利用・貸出し可能）

イ インターネットによるデータベース公開（<https://www.liwate-ed.jp>）

〔データベースの内容〕（令和7年度）

教育研究	所員及び長期研修生の研究	510件
学習指導案	県内の学校・教育機関で作成された学習指導案	7,583件

ウ いわてTeacherサポートメール（略称：Tサポメール）

最新の教育情報やICT活用例、当センターの閲覧室にある教育書の情報などを、1週間に1回程度、メールで配信しています。

エ Facebookによる情報発信

Facebookを通じ、センターにおける研修に係る緊急連絡および希望研修の申込みや案内に関する情報を発信しています。

(6) センター一般公開

令和8年10月31日（土）開催

県では11月1日～7日を「いわて教育週間」と定めて、教育に対する関心と理解を深めるとともに教育の充実と発展に資することを目的として、各種の取組を行っています。

当センターでも、子供たちの好奇心を高める楽しい学習及び体験、製作等のプログラムを用意した公開イベントを開催しております。



3 研究事業

(1) 研究事業の概要

本県教育における諸問題について研究し、有効な解決方策を明らかにするとともに、研修や支援に生かします。

研究の対象は、幼児児童生徒の資質・能力の育成、豊かな心を育む教育、特別支援教育の充実等に関する内容や各教科、教育相談、情報教育などです。

研究の成果は、2月の教育研究発表会で発表するとともに、その内容をWebでも配信し、普及に努めます。さらに、研修講座にも研究成果を積極的に盛り込みます。

(2) 令和8年度研究のテーマ及び概要等

ア 所員の研究

小中連携による授業研究会の在り方に関する研究

－校種を越えた対話から、協働的に学び合う組織を目指して－

(担当：教科領域教育)

本研究は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、小・中学校が連携して授業研究会を企画・運営し、授業改善に主体的に取り組む学校および教師の育成を図ることを目指します。具体的な取組として、授業研究会の企画・運営に関して伴走的な支援を行い、実際の授業を基にした協議や事例検討を通じて、授業改善に向けた実践的な知見の共有を促します。必要に応じてファシリテーションや資料提供などを行い、研究会の質的向上を支えるとともに、授業研究会の実施にあたっては、互いの授業を参観し合い、指導の工夫や児童生徒の学びの姿を踏まえた振り返りを行うことで、学びの連続性を意識した授業改善を促進します。研究協力校での取組を基に、小・中学校が連携した授業研究会の実現に向けた取組を整理・可視化したリーフレットを作成します。

高等学校の授業における生成AI活用促進に関する研究

－活用サイトの開発を通して－

(担当：情報・産業教育)

本研究は、高等学校の授業における生成AIの効果的な活用方法を明らかにし、授業における積極的な活用促進を図ることを目的としています。具体的な取組として、授業準備段階及び授業の各場面における生成AIの活用方法を、教員側・生徒側それぞれの立場から整理した上で、「授業のための生成AI活用ガイド」「学習用プロンプト」「実践事例」から構成される活用サイトを開発します。また、研究協力校との協働による授業実践を通じて、活用サイトの有効性と課題を検証し、段階的な改善を図ります。これらの取組を通して、教員の主体的な授業設計を支援するとともに、授業における生成AI活用促進を目指します。

イ 長期研修生の研究

幼児教育と小学校教育の円滑な学びの接続

－幼児期の遊びを通じた学びを踏まえた第1学年の授業実践－

本研究は、小学校教員が架け橋プログラムの取組の意義を理解し、幼児期の遊びを通じた学びを踏まえた第1学年の授業実践を行うことを通じて、本県における幼児教育と小学校教育の円滑な学びの接続に資することを目的としています。

研究の手立てとして、就学前教育施設で保育に携わり、幼児期の発達や学びに対する理解を深めます。その上で、所属校において、研究担当者自身が保育体験で得た知見や気付きを踏まえた授業実践を行い、幼児期からの学びをつなぐ授業実践例を示します。

(3) 研究成果普及のための取組

ア 岩手県教育研究発表会での発表

令和7年度は、所員研究3本及び長期研修生研究1本の発表を行いました。これらの研究成果は、岩手県立総合教育センターWebページ>研究に掲載しています。

イ Webページ・メール等を活用した研究成果の発信

ウ 研究紹介の配布、研究報告書等の見本展示

エ 研修講座・要請研修・随時研修・移動センターでの活用

オ 外部機関・発表会等における研究成果の発信

カ 教育事務所や市町村教育委員会の指導主事と連携した普及



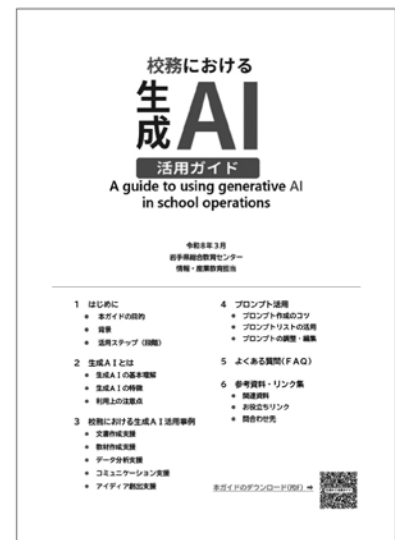
(4) 全国教育研究所連盟との関わり

ア 全国教育研究所連盟研究発表大会富山大会での発表

全国教育研究所連盟研究発表大会富山大会（オンライン）の全体会において、令和6・7年度全教連課題研究として当センターが取り組んできた「新たな教師の学びの実現に向けた教育センターの在り方—これまでの研修システムの総括と新たな研修モデルの構築を通して—」の最終報告を発表します。本研究では、自己研修を核に研修システム全体を見直し、①「自己研修の目的が達成された研修者の姿」の具体化、②初任者・2年目・3年目研修の講座改善、③研修指導主事のファシリテーション向上を進め、新たな教師の学びを実現する研修モデルを再構築しました。富山大会では、これらの成果と「研修観」の転換がもたらした効果について最終報告します。

イ 全国教育研究所連盟研究協議会山口大会での発表

全国教育研究所連盟研究協議会山口大会の分科会において、当センターの情報・産業教育担当による令和7年度研究「生成AIを活用した校務の効率化に関する研究」を発表します。本研究では、校務における生成AIの活用方法を整理した「校務における生成AI活用ガイド」を作成し、その内容を基にした研修モデルの開発や、校務で活用できるプロンプトのリスト化に取り組みました。また、このガイドを用いて、県内の小・中・高等学校の教員や管理職を対象とした研修会を実施しており、これらの研修の実践についても報告します。



IV ご案内

◆ 令和8年度（第70回）岩手県教育研究発表会

- | | |
|-------|--|
| 1 趣 旨 | 本県の教育課題を解決するために、県内各学校・園及び教育関係機関における実践研究の成果を広く教育関係者に公開し、その理解と普及を図り、もって本県の教育の向上に資する。 |
| 2 開催日 | 令和9年2月4日（木）・5日（金）【対面・リアルタイム・オンライン】
令和9年2月16日（火）～3月16日（火）【オンデマンド】 |
| 3 会 場 | 岩手県立総合教育センター・岩手県立生涯学習推進センター（予定） |

◆ 前年度（令和7年度）研究発表会の様子から

令和8年2月4日（水）から6日（金）にかけて、令和7年度（第69回）岩手県教育研究発表会を対面及びリアルタイム・オンラインにて開催しました。また、2月12日（木）から3月17日（火）にかけてはオンデマンドで動画を配信しました。6日（木）の開会行事及び講演は、岩手県立生涯学習推進センターセミナーホールで開催し、対面での参加者は約220名でした。東京学芸大学教職大学院 教授 堀田 龍也 先生を講師にお迎えし、ご講演いただきました。講演の後は、4つの特設分科会「学力向上」「人権教育」「教育の情報化」「地域クラブへの移行と学校の在り方」が行われ、「令和の日本型学校教育」の構築に向けた重要な課題について、対面参加者から多くの質問が寄せられるなど、充実した発表の場となりました。

4日（水）から6日（金）までの3日間、上記4つの特設分科会のほか、17の分科会で研究発表と協議が行われました。参加者は対面、リアルタイム・オンライン合わせて全体で約1,116名でした。実に110名の発表者から多種多様な授業実践、研究報告をいただきました。また、各専門分野のエキスパートをお呼びしての講演も行われ、充実した分科会となりました。

■ 2月5日（木）講演



堀田先生からは、日本の人口減少と社会の変化を踏まえ、次期学習指導要領ではICTを前提とした学びと情報活用能力の育成が一層重視されることが示されました。GIGAスクール構想は、個別最適な学びを支える基盤であり、端末活用やタイピングなどの基礎技能の確実な定着、そしてアウトプットを重視した授業改善が不可欠であること。さらに、生成AIの進展により、子供たちが主体的に学び続ける力の育成がこれまで以上に重要になることをご教示いただきました。

■ 2月6日（木）特設分科会

<特設分科会1 学力向上>

	内容	所属	職	氏名
1	検証改善サイクルモデル校事業実践発表① 調査結果を活用し、学年や教科を越えた授業改善を推進する「学校の組織的な取組」の実践から	平泉町立長島小学校	教諭	渡邊 紋
2	検証改善サイクルモデル校事業実践発表② 共に学び、生き生きと表現する生徒の育成	滝沢市立滝沢南中学校	教諭	富谷 伸行
3	検証改善サイクルモデル校事業実践発表③ 豊かな学びを拓く生徒の育成—自ら学び、自分の考えを表現・活用する授業を通して—	北上市立上野中学校	教諭	小野 純治
4	検証改善サイクルモデル校事業実践発表④ 考えを深化させる生徒の育成—筋道立てて考え、表現しあう学習活動をとおして—	大船渡市立第一中学校	教諭	佐々木 将太
5	検証改善サイクルモデル校事業実践発表⑤ 生徒の自己調整力を育成することは、思考・判断・表現の力を向上させるか—主体性を育成する校内研究の在り方—	宮古市立津軽石中学校	教諭	多田 美由紀
6	検証改善サイクルモデル校事業実践発表⑥ 主体的に学ぶ生徒の育成—授業・家庭学習の改革を通して—	久慈市立久慈中学校	指導教諭	門前 多恵子
7	教師一人一人の授業改善につながる授業研究会の在り方に関する研究	総合教育センター	主任研修指導主事	西澤 孝司

＜特設分科会2 人権教育＞

	内容	所属	職	氏名
1	自他の大切さを認め、行動できる生徒の育成ー「協力的・参加的・体験的な学習」を通してー	野田村立野田中学校	主幹教諭	坂本 高広
講評・講演	「子どもの権利」を理解し、人権が尊重される学校づくりに向けて	村井三郎法律事務所	弁護士	山口 研介
	児童生徒の性的指向・性自認の多様性について	宝塚大学看護学部	教授	日高 庸晴

＜特設分科会3 教育の情報化＞

	内容	所属	職	氏名
1	コミュニケーション能力を使って自分の考えを深めたり広げたりすることができる生徒の育成ー生徒がつながり、学びがつながる授業を通してー	一関第一高等学校 附属中学校	教諭	及川 啓太
2	生成A Iを活用した校務の効率化に関する研究	総合教育センター	研修指導主事	芦澤 信吾
講評・講演	教育の未来をデザインするー情報化と生成A I活用の最前線ー	札幌国際大学	教授	岩崎 有朋

＜特設分科会4 地域クラブへの移行と学校の在り方＞

	内容	所属	職	氏名
1	これからの部活動のあり方に係る取組について	一関第一高等学校 附属中学校	教諭	後藤 紘介
講評・講演	部活動の地域展開とこれからの学校教育ー不確実性を増す未来を生きる子どもたちのために 今、私たちがやらなければならないことー	兵庫教育大学	客員教授	細田 真由美
		前さいたま市教育長		

■2月4日(水)～6日(金) <分科会>

17分科会で授業実践、研究成果の発表がありました。

- | | | |
|----------------------------|---------------|---------------------|
| 01 国語 | 02 社会／地理歴史・公民 | 03 算数／数学 |
| 04 理科 | 05 音楽 | 06 図画工作／美術 |
| 07 家庭／技術・家庭 | 08 体育／保健体育 | 09 外国語活動／外国語 |
| 10 幼児教育／幼小接続 | 11 教育相談 | 12 特別支援教育 |
| 13 特別活動／キャリア教育 | 14 複式指導／小中連携 | 15 道徳／カリキュラム・マネジメント |
| 16 いわたの復興教育「いきる・かかわる・そなえる」 | | 17 教育課程一般 |

＜企画展＞

- 01 学校紹介写真展（会場展示・Web ページ掲載）
- 02 学生科学賞入賞作品展・理科教材展（会場展示）
- 03 教材展〔特別支援教育〕（オンデマンド）
- 04 学校公開資料展（Web ページ掲載）
- 05 教職大学院展（オンデマンド）

■2月12日(木)～3月17日(火)動画配信（オンデマンド型）

この3日間に行われた講演、研究発表の様子を、2月12日（木）～3月17日（火）までの期間、YouTube で配信しました。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
9月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
	幼稚園等初任「センターⅡ」 教育相談コーディネーター フォローアップⅡ	授業が変わる！「見えない学力」 の育成と評価	ロイノート・スクール 基礎2	高等学校教科専門 「公民」「物理」	生成AI活用！ 初めてのExcel VBA	◆県立教務主任会議	通級による指導担当教員養成研修講座	センターⅡ 教育相談コーディネーター フォローアップⅡ	実践組織 マネジメント	養護教諭現代的健康課題 対応力向上	養護教諭現代的健康課題 対応力向上	小学校外国語 専科教員研修会	小学校音楽授業づくり	◆道徳授業づくり研修会	特別支援学校2年目 「センターⅡ」	感情コントロール の力を育てる教師のかかわり	◆現地に学ぶ地学	園長等運営管理研究協議会	◆特別支援学校 教職経験者5年(後期)	敬老の日	国民の休日	秋分の日	中学校教職経験者 5年	教職経験者5年(養護教諭)	教職経験者5年(栄養教諭)	◆柔道指導者 研修会	高等学校 2年目					
10月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	小学校2年目	中学校2年目	2年目(養護教諭)	高等学校における 特別支援教育 実践力向上Ⅱ	ソーシャルスキル トレーニング	◆食育推進研修会	通級による指導担当教員養成研修講座	小学校2年目	中学校2年目	高等学校における 特別支援教育 実践力向上Ⅱ	◆食育推進研修会	ス ポ ー ツ の 日	高等学校3年目	中学校初任「センターⅢ」	小学校3年目	◆学校保健 研修会	幼稚園等初任 「センターⅢ」															
11月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
	文化の日	特別支援学校初任 「センターⅢ」	高等学校 教科専門研修 「情報」	幼児教育スキルアップ協議会	◆幼児児童の運動遊び研修会	通級による指導担当教員養成研修講座	文化の日	特別支援学校初任 「センターⅢ」	高等学校 教科専門研修 「情報」	◆幼児児童の運動遊び研修会	通級による指導担当教員養成研修講座	小学校初任「センターⅢ」	中学校3年目	小学校理科 ものづくりの指導	3年目(養護教諭)	◆勤労感謝の日	婦国・外国人児童生徒 等教育関係者研修会															
12月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
	養護教諭 健康相談・ 保健教育分野	◆美術館を 活用した鑑賞 教育	◆初任者研修Ⅲ (養護教諭)	通級による指導担当教員養成研修講座	養護教諭 健康相談・ 保健教育分野	◆美術館を 活用した鑑賞 教育	◆初任者研修Ⅲ (養護教諭)	通級による指導担当教員養成研修講座	養護教諭 健康相談・ 保健教育分野	◆美術館を 活用した鑑賞 教育	◆初任者研修Ⅲ (養護教諭)	通級による指導担当教員養成研修講座	養護教諭 健康相談・ 保健教育分野	◆美術館を 活用した鑑賞 教育	◆初任者研修Ⅲ (養護教諭)	通級による指導担当教員養成研修講座	養護教諭 健康相談・ 保健教育分野	◆美術館を 活用した鑑賞 教育	◆初任者研修Ⅲ (養護教諭)	通級による指導担当教員養成研修講座	養護教諭 健康相談・ 保健教育分野	◆美術館を 活用した鑑賞 教育	◆初任者研修Ⅲ (養護教諭)	通級による指導担当教員養成研修講座	養護教諭 健康相談・ 保健教育分野	◆美術館を 活用した鑑賞 教育	◆初任者研修Ⅲ (養護教諭)	通級による指導担当教員養成研修講座	養護教諭 健康相談・ 保健教育分野	◆美術館を 活用した鑑賞 教育	◆初任者研修Ⅲ (養護教諭)	通級による指導担当教員養成研修講座
1月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	元日	小学校理科授業づくり 教師のための 生成AI活用2	成人の日	通級による指導担当教員養成研修講座	元日	小学校理科授業づくり 教師のための 生成AI活用2	成人の日	通級による指導担当教員養成研修講座	元日	小学校理科授業づくり 教師のための 生成AI活用2	成人の日	通級による指導担当教員養成研修講座	元日	小学校理科授業づくり 教師のための 生成AI活用2	成人の日	通級による指導担当教員養成研修講座	元日	小学校理科授業づくり 教師のための 生成AI活用2	成人の日	通級による指導担当教員養成研修講座	元日	小学校理科授業づくり 教師のための 生成AI活用2	成人の日	通級による指導担当教員養成研修講座	元日	小学校理科授業づくり 教師のための 生成AI活用2	成人の日	通級による指導担当教員養成研修講座	元日	小学校理科授業づくり 教師のための 生成AI活用2	成人の日	通級による指導担当教員養成研修講座
2月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	◆「60(ロクマル)プラス」 優良実践校表彰並びに 実践交流会	
3月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	日 春分の日	月 振替休日																														

●生涯学習推進センター会場 高等学校2年目フォローアップ：随時 特別支援教育担当ステップアップⅡ・Ⅲ：随時

VII 施設の概要

【敷地面積】

36,942.10㎡

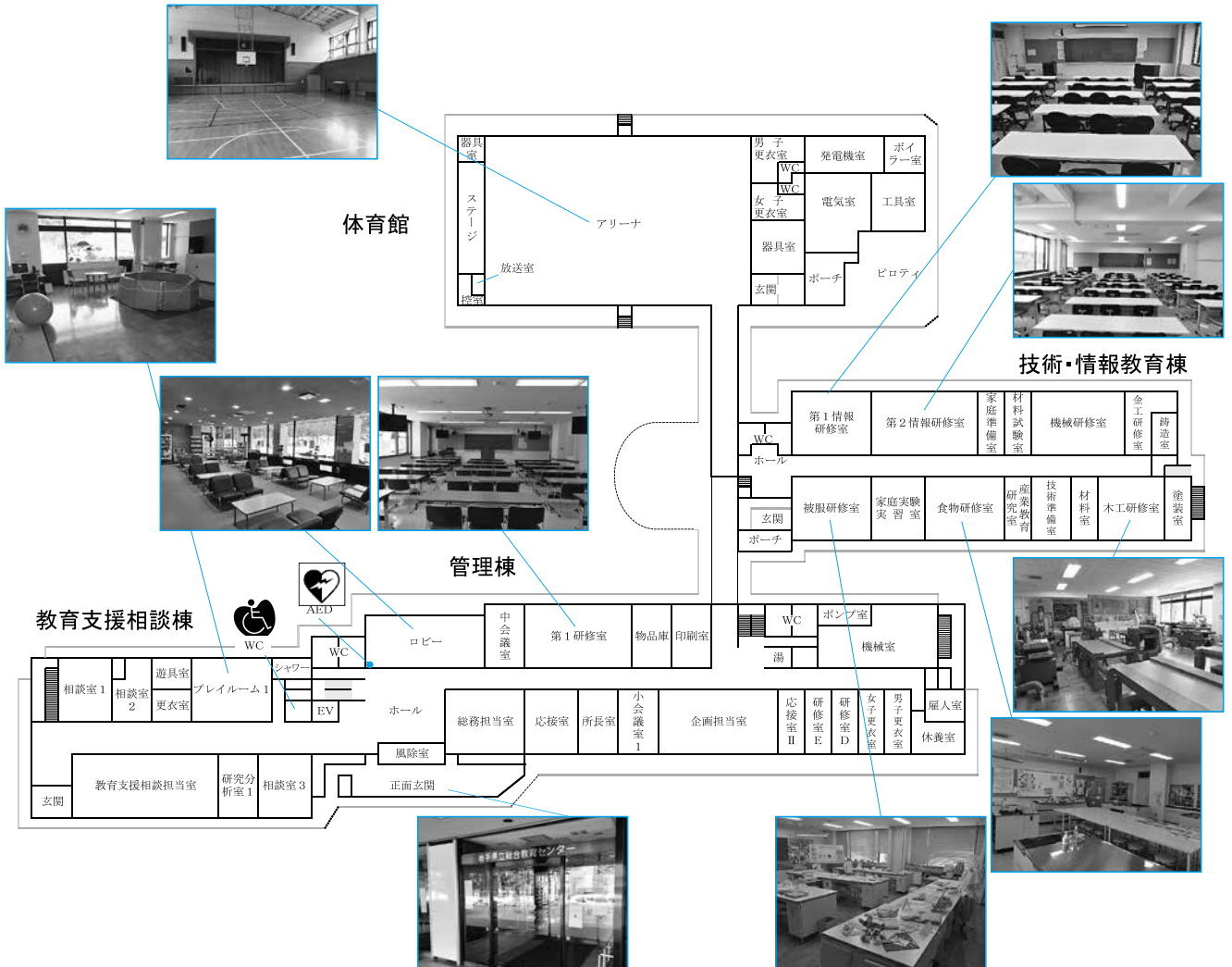
【建物面積】

棟別・面積		建物面積(㎡)	延面積(㎡)	構造
管理・教育 支援相談棟	管理棟	1,402.65	6,004.52	RC造 6F
	教育支援相談棟	550.00	1,100.00	RC造 2F
技術・情報教育棟		1,201.02	2,464.56	RC造 2F
体育棟		849.75	849.75	S造 2F
その他		343.67	390.17	
総計		4,347.09	10,809.00	

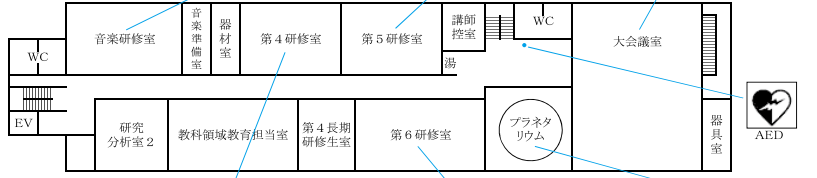


【平面図】

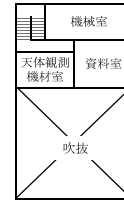
1階



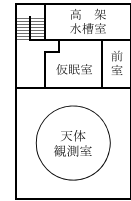
4階 管理棟



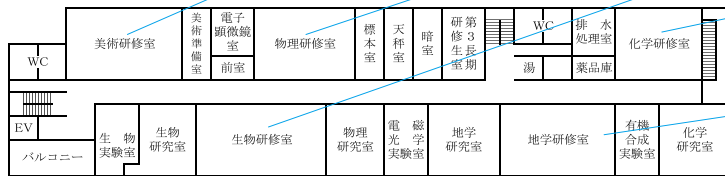
5階 管理棟



6階 管理棟



3階 管理棟



2階

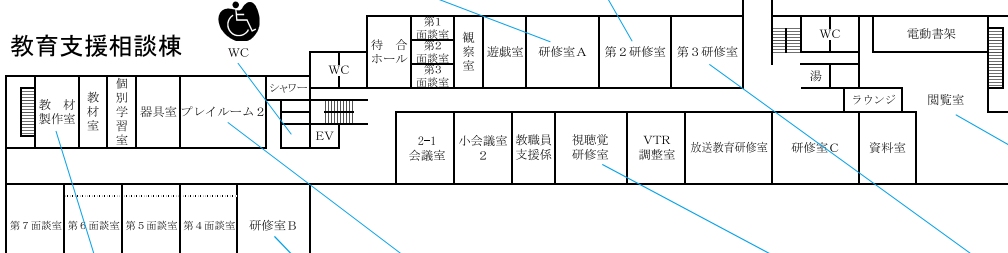


技術・情報教育棟

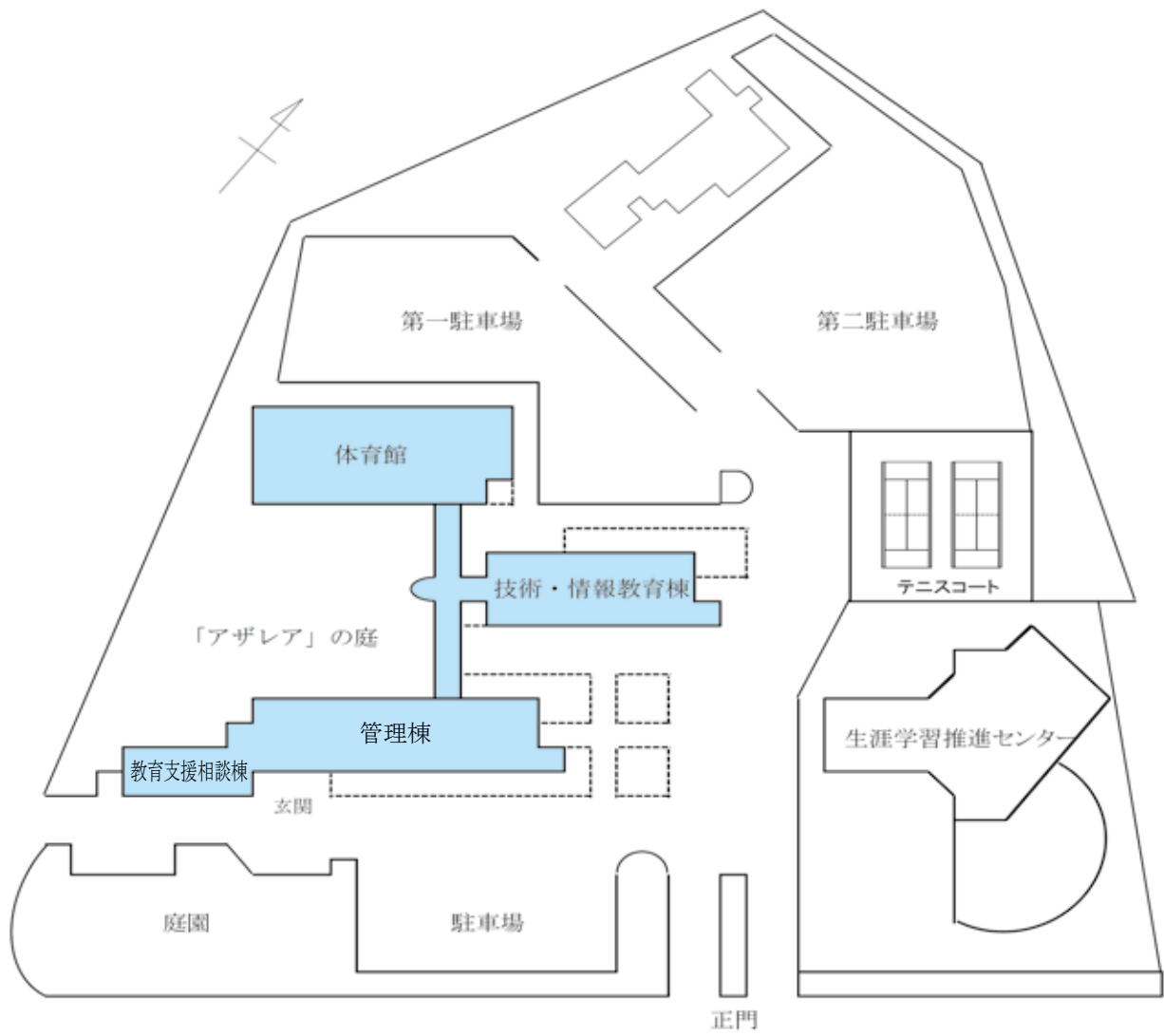


管理棟

教育支援相談棟



【総合教育センター全体図】



VIII 歴代所長

	氏名	在職期間		氏名	在職期間
初代	堀川 英俊	昭和63年4月～平成元年3月	11代	藤原 忠雄	平成20年4月～平成25年3月
2代	鈴木 正七	平成元年4月～平成5年3月	12代	平賀 信二	平成25年4月～平成26年3月
3代	長澤 義正	平成5年4月～平成8年3月	13代	川上 圭一	平成26年4月～平成27年3月
4代	石川 悌司	平成8年4月～平成10年3月	14代	高橋 勝	平成27年4月～平成29年3月
5代	竹田 紀男	平成10年4月～平成13年3月	15代	藤岡 宏章	平成29年4月～平成31年3月
6代	五十嵐 正	平成13年4月～平成14年3月	16代	岩井 昭	平成31年4月～令和3年3月
7代	田口 淳一	平成14年4月～平成15年3月	17代	村上 弘	令和3年4月～令和6年3月
8代	盛川 通正	平成15年4月～平成17年3月	18代	佐々木 寛	令和6年4月～令和8年3月
9代	吉川 健次	平成17年4月～平成19年3月	19代	三田 正巳	令和8年4月～
10代	伊藤 勝	平成19年4月～平成20年3月			

IX 沿革

昭和23年12月31日	実態に即した教育問題を研究し、教育の改善進歩に寄与するため、岩手県教育研究所を盛岡市に設置
昭和32年7月30日	岩手県立教育研究所に名称を変更
8月1日	教育職員免許取得及び現職教育のため、岩手県立教員研究所を二戸市に設置
昭和37年7月1日	科学教育の充実を図り、理科教育の現職教育のため、岩手県立理科教育センターを盛岡市に設置
昭和41年3月31日	岩手県立教育センター設置に伴い、岩手県立教育研究所、岩手県立教員研究所、岩手県立理科教育センターを廃止
4月1日	教育水準の向上を図る総合的な研究・研修の機関として岩手県立教育センターを設置（研究、研修、庶務の3部、第1～3研究室・研修室、庶務係6室1係を組織）
昭和50年4月1日	高等学校における情報処理教育推進のため、岩手県立教育センター分館を盛岡市に設置し、情報処理部を加えた4部に改組
昭和54年4月1日	室名を理科教育、教育経営、教育相談、教育資料、一般教科、産業教育の各室に変更
昭和60年4月1日	岩手県立総合教育センター建設のため、岩手県教育委員会に教育施設建設事務所を設置
昭和61年8月11日	岩手県立総合教育センター建設工事着工
昭和63年3月31日	岩手県立総合教育センター設置に伴い、岩手県立教育センターを閉所
4月27日	岩手県立総合教育センター開所式挙行政
平成元年5月31日	全国教育研究所連盟第13期共同研究事務局を設置、平成3年まで全国研究集会を開催
10月1日	教育研究パソコンネットワークを県内の学校・教育施設900を対象に開設
平成3年4月26日	教育研究パソコンネットワークを「銀河コスモスネット」として拡充し、運用を開始
平成4年3月31日	情報処理生徒実習を本館に統合することに伴い、岩手県立総合教育センター分館を閉館し、情報処理部を廃止
5月20日	全国教育研究所連盟第13期共同研究「個を生かす教育の実践」を刊行
平成5年2月17日	国立教育研究所第5回教育研究公開シンポジウム「これからの学力観を求めて」を共催
平成8年3月31日	岩手県立生涯学習推進センター設置に伴い、岩手県立総合教育センター社会教育室を閉室
4月1日	「教育用ソフトウェアライブラリセンター」を開設
7月12日	インターネット設備導入・運用開始
平成9年4月1日	教員研修新体系の実施
平成10年2月16日	岩手県立総合教育センター研究発表会を「岩手県教育研究発表会」に改称
2月27日	岩手県立総合教育センターインターネットホームページ開設
平成11年3月31日	教育情報衛星通信ネットワーク設備導入
6月2日	全国教育研究所連盟総会・研究発表会岩手大会開催
平成12年10月5日	全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会初等理科部会開催

平成13年4月1日	岩手県立総合教育センター新機構、3部6室に改編
平成15年4月1日	新たに指導部を設置し、4部6室に改編
平成16年4月1日	研究部と研修部を統合し、3部6室に改編
平成17年4月1日	岩手県立総合教育センター運営協議会設置
5月19日	東北・北海道地区教育センター協議会（春季）開催
10月13日	東北・北海道地区教育センター協議会（秋季）及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会開催
平成18年4月1日	教育調査室を企画調査室に変更
10月26日	全国特殊教育センター協議会総会・研究協議会岩手大会開催
11月3日	「いわて教育の日」関連事業総合教育センター一般公開開始
平成19年1月9日	第50回岩手県教育研究発表会開催
4月1日	企画総務部（1担当1室）、研修部（3室）、支援指導部（2室、1担当：学力向上担当を新設）の3部に改編
11月8日	平成19年度都道府県指定都市所長協議会「生物部会（第45回）」研究協議会及び研究発表会開催
平成20年4月1日	室制を廃止し担当制に改組。3部8担当、企画総務部（2担当）、研修部（3担当）、支援指導部（3担当）に変更
平成21年4月1日	企画総務部を総務部（1担当）に改組。企画調査担当を研修部（3担当）、情報教育担当を支援指導部（3担当）に変更。学力向上担当を岩手県教育委員会事務局学校教育室に移管 本県の教育課題に対応する、授業力向上研修（34歳・44歳・54歳）を核とした新教員研修体系の実施
平成22年11月4日	全国教育研究所連盟教育課題研究協議会岩手大会開催
平成23年3月14日	東日本大震災の被災地（宮古、大槌、釜石、陸前高田）へ支援チームを派遣
4月1日	企画調査担当を企画担当に変更。教育相談担当と特別支援教育担当を統合し、教育支援相談担当に変更。支援指導部（2担当）に変更
平成23年4月	東日本大震災の学校向け支援物資の集荷・発送拠点として活動
10月20日	東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会開催
平成25年4月1日	科学産業教育担当を理科教育担当に、情報教育担当を情報・産業教育担当に変更
平成26年4月1日	初任者を採用から3年間かけて育成する教員研修体系の実施
平成29年10月19日	東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会、都道府県指定都市教育センター所長協議会生物分科会開催
平成31年4月1日	「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえ、キャリアライフステージに応じた新たな研修体系に基づいた研修講座を開始
令和3年3月31日	明窓館の宿泊機能廃止
10月1日	15室の無線LAN環境、5台の大型提示装置、165台のタブレット端末を導入し教員のICT活用研修のための環境を整備
令和4年3月	教員免許更新制の発展的解消に伴う授業力向上研修の廃止
3月31日	明窓館閉館
令和5年4月	「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえ、キャリアライフステージに応じた新たな研修体系に基づいたステージアップ研修（前期・後期）を開始
10月19日	東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・研究発表大会開催
令和6年3月4日	能登半島地震の被災地（金沢）へ所員を派遣
4月1日	全国教員研修プラットフォーム（Plant）の導入
4月	全国教育研究所連盟課題研究応募（令和6年度～7年度）
令和7年7月	令和6・7年度全国教育研究所連盟課題研究中間報告

Management Policy

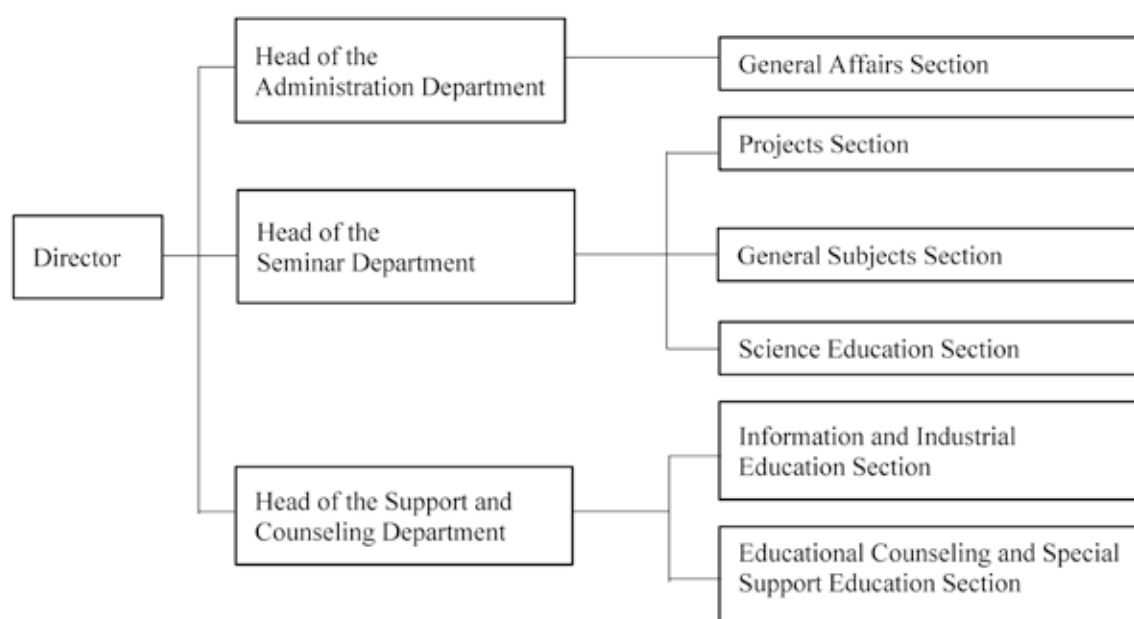
Goal

The goal of the General Education Center is to promote and realize the basic concepts of Iwate's educational administration policies by adapting to and solving problems relating to education in Iwate, creating and providing seminars, providing support, developing school-relevant research to enrich the professional development of teachers, and supporting the educational needs of children, students, parents, teachers and schools throughout Iwate.



Policies

- (1) To realize the basic concepts of Iwate's educational administration policies and provide planned school-relevant seminars by adapting to and solving problems relating to education in Iwate.
- (2) To support the training and research of schools throughout Iwate, and to provide consultation and support to students, parents, and teachers.
- (3) To conduct leading and practical research that leads to educational problem solving in Iwate.
- (4) To be the organization that promotes educational training, research, and support with expertise and high management ability.



Outline of business

In-service Training

To aid in the development of the skills and abilities of the educational staff in Iwate, we provide the following seminars each year.

Basic Seminars

- Five mandatory seminars for teachers during various stages of their careers. This ranges from newly recruited teachers to teachers well into their careers.

Professional Ability Seminars

- Seminars for educational staff to further develop their professional skills and abilities
- Seminars for one year and short term researchers

Open Seminars

- Seminars to cope with specific needs (during summer and winter vacation)
- Seminars to give assistance and advice to educational staff are provided all year round

Support System

Educational Counseling

- Counseling for a variety of educational needs, such as school life and the growth of mind and body from infancy through adolescence, is provided for infants, students, parents, and educational staff.
- Counseling sessions are available upon requests during the regular working hours of the Education Center.

Educational Resources

- In order to enhance school education in Iwate, various types of educational resources, such as books and periodicals, are collected and made available to all the educational staff in Iwate.

Library

- The library has a variety of books, periodicals, and brochures related to education, and they are available for loan.

Web-page (<https://www1.iwate-ed.jp/>)

- The Web-page of the Education Center provides educational information, such as: General Information about the Education Center, Research Projects, In-service Training, Support System, Introduction of Each Room, Educational Links, and Schools in Iwate.
- Educational information is provided to assist in the usage of multimedia.

Publications

- In order to make the research public, we publish:
Chronicles of Education in Iwate Prefecture, Journal of Education in Iwate, Annual Research Reports, Annual Educational Research by One-year Researchers, and News from the Education Center.

Research

- In order to make the current trends in education better understood, varied practical research is carried out.
The main fields of research are: School Management, Progress in Scholastic Ability, Educational Counseling, Information and Communication Technology, Special Support Education, and Curriculum Areas. Reports of each research project are published in research publications and bulletins.
- Research done by the Education Center in all grade levels, from day nurseries through senior high schools, as well as special support schools, is reported during the annual conference that is planned to be held in February.

各種情報発信

総合教育センターが発信する情報をご活用ください

公式Webページ

研修申込、研究資料、学習指導案データベース、教材など必要な情報にアクセスできます



Web アプリや動画コンテンツもあります



最新情報は
Web ページで
さらに詳しく

<https://www1.iwate-ed.jp> 検索

定期刊行物 「教育研究岩手」

岩手の教育課題に対する論説や解説、各学校の優れた実践事例を掲載しています



大学教授、作家、
企業経営者など
幅広い分野の専門家が
寄稿しています

BACK NUMBERS



過去の発行号も
Web でご覧いただけます

いわて Teacher サポートメール



最新の教育情報や
ICT 活用例、当セン
ターの閲覧室にある
教育書の情報などを
1 週間に 1 回程度メ
ール配信で情報発信
します



公式 Facebook

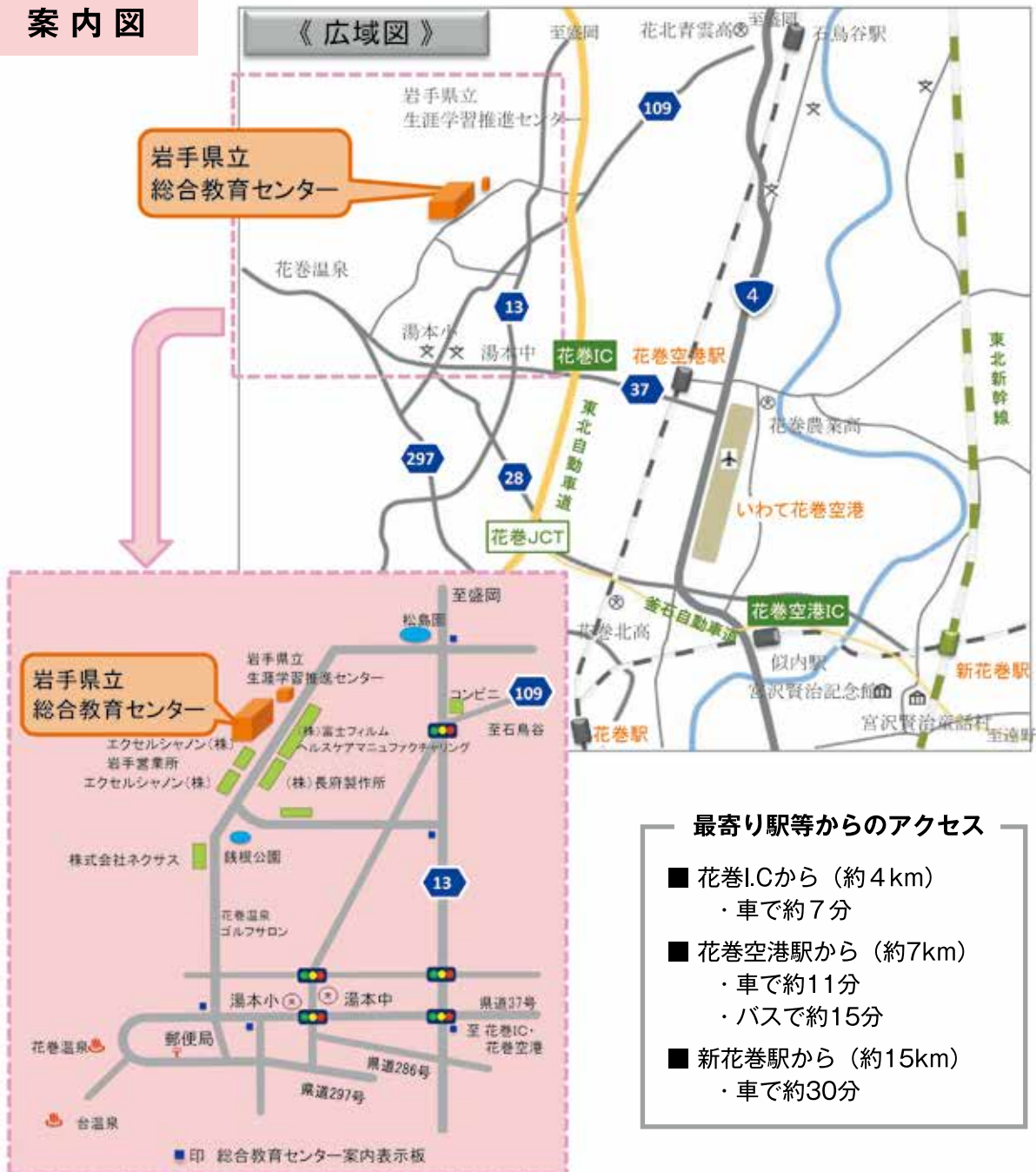


研修にかかる緊急連
絡、希望研修の講座
の申込締切日、希望
研修の案内などの情
報を発信しています

Follow Us



案内図



岩手県立総合教育センター

〒025-0395 岩手県花巻市北湯口第2地割82番1
 TEL 0198-27-2711(代表) FAX 0198-27-3562
 URL <https://www1.iwate-ed.jp/>

〈担当直通電話番号〉

- | | | | |
|--------------------------|--------------|-------------|--------------|
| ● 総務担当 | 0198-27-2711 | ● 理科教育担当 | 0198-27-2742 |
| ● 企画担当 | 0198-27-2833 | ● 情報・産業教育担当 | 0198-27-2254 |
| ● 教科領域教育担当 | 0198-27-2735 | ● 教育支援相談担当 | 0198-27-2821 |
| ■ 学校生活に関する教育相談電話「ふれあい電話」 | 0198-27-2331 | | |
| ■ 発達に関する教育相談電話「コスモスダイヤル」 | 0198-27-2473 | | |